

# 「劇あそび」について

東京市麴町區富士見幼稚園 山村 喜 よ

去る三月五日東京市保育會に於て「劇あそび」について發表させていたゞきましたが、十五分といふ限られた時間の爲に充分お話し結びを付ける事が出来なかつた様に思れますので、この紙上を拜借してもう一度簡單にのべさせていたゞく事といひました。

## 一、「劇あそび」の言葉について

この言葉は私が勝手につけました名前です。御座います。舞臺面に表はれましたところは小學校兒童、又は幼稚園兒童によつて行はれて居りますあの童話劇と同じ様なもので御座います。たゞ内容に向つて目ざして居ります諸點が大部相違してゐるので御座います。たゞは兒童劇、童話劇の場合は、ある立派な脚本のみに限られた人數の者が出演して時はこの方面の才能の見出されない者はいつまでたつても舞臺にのせられぬといふ様な事もあり勝ちです。

し、こに角劇としての効果を充分表はす爲に苦心されてゐると思ひます。しかし幼兒の場合には才能のあるなしにかゝわらず皆が演じ度いのでございまして、しかも見せる爲に上手にやる等は考へられぬ事で御座います。したがつて今までに造られてあります童話劇・兒童劇の脚本集等見ましても幼兒向きと思はれますのが少い様に思はれます。

こに大人の演劇は立場を異にしてゐるこはいへやつぱり觀客を對氣として

脚本↓演出↓出演者 といふ様なある「つながり」を持つて考へられてゐる關係上そのまゝ使用する事は無理な場合が多いと思ひます。しかし幼兒等は「お話し」同様にこの童話劇を見る事が大好きで御座いますしこに自分等で演ずる事は大好きで御座います。それで私もお話の立體表現でも申しませうか、いわゆる「お話し遊び」にして斯様なもの

も試みて居りますが、これは演じて居る者のみが非常に興

味を持つたり又喜びますが、見て居る者にはあまり興味も

なさそうですし、やはりある限られた人数に支配される事

も御座いますので(いろ／＼)方法にもよりますが)ある時

には子供等の観賞物にもなります様に(お節句とかお誕生

祝とかの集りの爲に)ある種の劇的要素をも含ませ、見るた

めのものでもあり、聞く爲のものでもあり、しかも大勢が

一諸になつて演じ遊ばれる様な…又この遊びを通してい

ろ／＼の効果をもおさめて行き度いと思ひまして「劇」に似

たものでは御座いますが、劇としての効果を充分に表はし

得ません幼児等に、遊びの材料として又観賞物の一つとし

て與へ度いものゝ勝手な名前をつけて現在行つて居るもの

で御座います。

二、目的

あるところまで兒童劇・童話劇の目的を共にする事が出

来ると思ひます。そして自然の遊びのうちにも物真似を好み

遊戯を喜ぶ本能の満足と美的教化の一部面を持つて居ります。又各保育項目の「つながり」も出来て次に擧げられる

様な効果が實際に得られる様に思はれるので御座います。

### 三、効果

(イ)、幼児自身の自己満足

(ロ)、生活の明朗化

(ハ)、正しい言葉と發音の指導

(ニ)、注意力の養成と、ある落ちつき

(ホ)、その他

### 四、方法

(イ)脚本について

始めにも申のべました様に大勢の幼児が一緒に演じ遊ば

れるといふ條件のもに、現在知つてゐるお話から、テ

マを取るとか、習ひおぼへた遊戯、唱歌等がある言葉、動

作でつなぎ合せるとか、又は幼児時代の夢を現實化して行

くとか、いろ／＼材料はあると思ひますがどこでも對照が

「幼児」であるといふ事を考へて造つて行き度いと思ひま

す。そして勿論ある段階をふんで簡單なものから複雑なものに進む必要が御座います。しかし又あまり時間のかかり

ますものは幼児等(出演者)全體の精神が集注しない様にも

思はれますので十分——十五分位で終るものが一番都合よい様に思はれます。

(己) 配役について

1、一人だけ活躍する様な主役をつくらぬ事。(脚本にもよりますけれど)

2、時々配役を取りかへて見る事

3、一番始めに言葉を發する幼兒は出来るだけはつきりしてゐる者を選ぶ事。等々

(ハ) 臺詞について

1、出来るだけ言葉を短く

2、同じ言葉をくりかへしてすむところはむだな言葉を使はぬ様に

3、自然の會話の句調で保姆が口づたへする事(始めに變なアクセントで耳に入つた言葉はなかく、なほらぬ様でございませ)

(ニ) 動作について

1、特別の動作の外は出来るだけ幼兒の自然にまかせ  
る事

(ホ) 伴奏について

1、是非共必要でございませ

2、レコード、ピアノ、唱歌隊、等々

(ヘ) 仕度について

2、化粧等は絶対にさせぬ事

2、立體的な物を頭につけるさか、平面的なおめんの様なものをつけるさかして簡単な仕度をしてもらふ事は非常に喜びませ。殊に「全部」の者に何かしら仕度をしてやるさか細い心やりが必要でございませ

3、自分の仕度は保姆の手をかりないでも出来るやうにごく簡單に

(ト) 背景其他について

物語りの立體化を助ける爲に背景、大道具、小道具等皆必要で卸座いますけれど「出来るだけ簡單に」、そして色調の具合など「下品」にならぬ様、又あまりにはなやかにならぬ様子供らしい可愛いものにし度いと思ひませ。

五、實際保育にまき入れての反省

てみましたら案外らくに話す事が出来た様で御座います。

「鯉職り」(年長組用)(約七分)

(登上人物)

父鯉、母鯉、子供鯉

雀、七、八羽 子供七八人

幕開くと空高く三匹の鯉職りが立つてゐる(子供を適當の臺の上)のせ胸から大きな鯉(父鯉)と小さい鯉をさげ足を雲でかくレコードで靜かな音楽を少々聞かせ

父鯉「ずいぶんいゝお天氣だね」

母鯉「ほんま、こうして高いお空に立つてゐるま、こどもいゝ氣持だわ」

子供鯉「うれしいな、お山も見へるしお家も見へて」

この時雀の子二、三羽つゝ鯉職りのまわりを、チュツ／＼／＼云ひながらとび廻り最後に(雀のお宿)の唱歌を唄ひながら

退場

父鯉「雀さん達も嬉しそうだね」

母鯉「うれしいでせう、いゝ氣持ちそうに歌つてかへつて行つたわね」

現在私は日常保育にさり入れまして雨の日、冬の日等の室内遊びに、又お誕生會、お節句、保護者會等の集りの時にもいたして居りますがほんまに幼児等が喜びまして、つい先頃の唱歌遊戯會練習の頃にはこの「劇遊び」の爲に缺席が少くなつたさいつてもよい位喜んでいたしました。又この爲にいろ／＼の効果もおさめる事が出来まして、内氣な者が大變活躍いたしましたり、又始終無口であまり保母さまお話の出来なかつた者が急に話し出す機會を造つたり等いたりしまして喜んで居ります。たゞ考へねばなりません事は、さうしても私自身が幼児と共に夢中になり勝ちで長い時間室内に入つてゐたり、見せる爲に苦心したくなつてまゐりますので充分注意いたして居るつもりで御座います。紙面に限りが御座いますので、さうかと思ひますが、お許しいたゞける範圍に於いて、今まで實際にいたしました脚本を季節によつて、又簡單なものからだん／＼にのせさせていたゞくつもりで御座います。さうぞ充分の御批判を願ひ申上げます。次にのせました「鯉職り」は昨年五月のお節句に年長組幼兒全體でいたしましたもので御座います。大勢の子供に對話させます所の對話の言葉の順に子供を列べ

子供鯉「ぼく雀さん達と遊び度いね、遊んでもいい？」

母鯉「いけません」

父鯉「雀さん達にはお羽根があるからいゝけれど」

母鯉「あなたはお母さんと一緒にでなければだめよ」

父鯉「もう少し立つたら、太郎さんのお家のお蔵へしまつていたゞくんだからね」

母鯉「又來年の今頃になつたら出していたゞきませうね。」

子供鯉「つまないなあ」

子供七人(鯉幟り)の唱歌を唄ひながら出て來る。

父鯉「あつ……人間の子供が來るよ」

母鯉「可愛い、坊ちゃんやお嬢ちゃん達ね」

父鯉「何かして遊ぶんだらう」

母鯉「だまつて見てるませうよ」

子供等だん／＼雲の近くまで來て少しはなれたところで止り鯉幟を見あげる

子供1「大きな鯉幟りだなあ」

子供2「うん、すいぶん大きいね」

子供3「あの一番大きいのがお父様鯉よ」

子供4「あの赤い大きいのがお母様鯉でせう？」

子供5「お母さんのそばに居るのが赤ちゃんよ」

子供6「かわい、赤ちゃんね」

子供7「これ太郎さんの家の鯉幟りよ」

子供1「すいぶん立派だねえ」

子供2「僕のはお座敷にかざつてあるよ」

子供3「私のお兄さんの鯉幟りもかざつたわ」

子供4「今はこのお家にもあるんでせう」

子供5「だつて男の人のお節句ですもの」

子供6「あ、そうだつた、早くかへつて太郎さんのお家へ

およばれに行きませうよ」

子供7「うん、ただけ鯉幟りのまわりでおきつてからにし

ようよ」

子供6「え、それがいゝわ」

一同(鯉幟り)の遊戲一回踊り終つて、歌ひながら退場

子供鯉「あ、面白かつた」

母鯉「太郎さんのお家はにぎやかでせうね」

父鯉「あ、きつみにぎやかだらうよ」

この時遠くの方から(鯉幟り)の唱歌がすかに聞へて來る

——靜かに幕——